



WAVE!

Shingo Amamiya Narita City Report

2011.08
Vol.17

成田市議会議員

雨宮しんご

2期目も「結果を出せる政治」
「伝える政治」を実践します！



Facebook 雨宮 真吾

活動日記を毎日更新!!

雨宮しんご

検索

32歳

放射能 と成田市

—放射能特集—

大気中の 放射線量

ていただきます。
なお、放射能関連の詳細情報や最新情報は市のホームページに掲載されておりますので、
ご参照下さい。

市は5/24・25と6/15・16、それに21・23、7/7・8の4回に亘り、市内31の保育・幼稚園や40の小・中学校で放射線量の測定を実施しております。最新結果によると、地表5cmの高さで1時間当たり0.04μSv(マイクロシーベルト)と0.25μSvというものでした。

先日、わずかな日数でしたがつなみ被災地に赴き災害ボランティア活動に汗を流してきました。360度見渡す限りの荒涼とした地には残骸以外何もなく、想像を絶する自然の圧倒的な破壊力を目の当たりにして言葉が失いました。
さて、福島第一原子力発電所の災害事故による放射能汚染は関東地方を越えて静岡県の茶葉にまで影響をおよぼしており、当該発電所から約195kmの地点に位置しているわが成田市としても「距離は絶対的なものではない」との認識を持つに至っております。

諸々の状況を踏まえ、市民の安心・安全のため市役所を中心とした各行政機関がその機能のすべてを駆使して現在放射能対策に取り組んでおります。

雨宮しんごの議会活動報告紙であるこのWAVE17号におきまして、その取り組みの状況と成果の一部を報告させ



なお児童生徒においては、できる限り受ける線量を減らしていくという基本に立って、今年度、学校において児童生徒が受ける線量について当面、年間1mSv以下を目指すとして

います。このことを踏まえ6/23、市教育委員会から各小中学校宛に具体的な対応策が通知されました。
また、文部科学省は福島県以

外の1都15県についても、学校の校庭で大気中の放射線量が毎時1mSv以上計測された場合については、校庭の表土除去費用を負担するとこのほど発表しました。わたくしが同省に確認したところ、15県の中には千葉県も含まれており、幼稚園、小・中・高等学校が対象となっております。

△測定実施学校(園)名▽

- 小学校 成田・遠山・三里塚・東・久住・豊住・八生・公津・向台・加良部・橋賀台・新山・吾妻・玉造・中台・神宮寺・平成・本城・滑河・小御門・名木・高岡・大須賀・桜田・前林・津富浦・川上・公津の杜・美郷台・成田高校付属
- 中学校 成田・遠山・久住・西・中台・吾妻・玉造・下総・大栄・成田高校付属
- 保育園 長沼・松崎・橋賀台・赤荻・中台・中台第二・吾妻・新山・玉造・高岡・小御門・大栄・成田・つづえ・大室・宗吾・三里塚第一・三里塚第二・公津の杜・月かけ
- 幼稚園 大栄・成田・三里塚はぼたん・聖徳大学付属第三・くすのき・はしが台はくと・玉造・公津の杜・成田市こども発達支援センター

土壌の 放射性物質

6/6・6/8、市は前記した31の保育・幼稚園と40の小・中学校で土壌中の放射性物質の測定を行いました。その結果、数値の多少はあるもののすべての検査地点で放射性セシウム134・137が検出され、最高値は775Bq(ベクレル)/kgでした。ですが、放射性ヨウ素131は検出されませんでした。

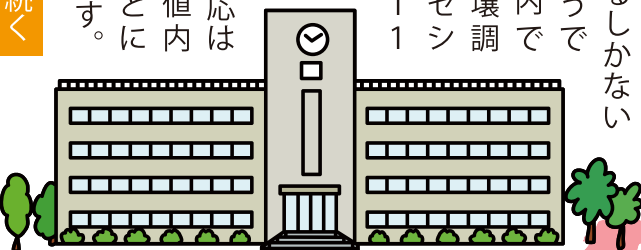
放射性セシウムの計測値に差がでたのは、風や雨水、それに土質の違い等が影響しているようです。いずれにしてもすべての計測地点で検出されたということは、福島第一原発の影響と考えられています。

また放射性ヨウ素131が全く検出されていないのは、月日の経過とともに減少する(半減期といいます)性格を持っているためと考えられています。このことから、福島第一原発からの放射線による影響は、ここ最近ほとんどなかったのではないかと推察されています。

政府見解として、水田の土壌が5000Bq(ベクレル)/kgを超える放射性セシウム(合算セシウム量)が検出された場合は、米の作付け制限を發動するという発表がでています。現時点ではこの規制値を参考にするしかない

状況のようですが、市内で行った土壌調査の合算セシウム量は115775Bq/kgの範囲にあり、一応はこの規制値内ということになって

裏面に続く



雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
tel：0476-27-5918 / fax：0476-27-1051

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(32歳)
- 平成19年 過去最多得票(2651票)で初当選
- 平成23年 過去最多得票(4079票)で2期目当選
- 教育民生常任委員会 副委員長
- 空港対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 印旛利根川水防事務組合
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮しんご

出前市政報告会を開催しています!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、ご要望に応じて出前市政報告会を開催しています。メールかFAXにてお申込み(2人以上)頂ければ、日程を調節の上、成田市内どこへでも伺います。ざっくばらんな意見交換の場としても活用ください!!

学校プール水の放射性物質量

学校プール水の測定は、第1回目目6/22、第2回目目6/28に行われました。検査対象となったプールは注水後、数日経過したものでしたが、結果は放射性ヨウ素、放射性セシウム、放射性ヨウ素、放射性セシウムのいずれも不検出(当該検査器では検出限界という意味で、0という意味ではありません)でした。なお実施した学校は次の各校です。

小学校は、成田、遠山・三里塚、東、豊住、公津、向台、加良部、橋賀台、新山、吾妻、玉造、中台、神宮寺、美郷台、平成、本城・小御門、公津の杜、遠山、名木、の各校であり、中学校は、西、成田、遠山、久住、中台、吾妻、玉造、下総、大栄の各校です。

農産物の放射性汚染

千葉県は7/22、千葉県産農産物の放射性モニタリング検査結果を発表しました。それによりまずと、野菜、果実等については、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに暫定規制値以下であり、安全性が確認されているとしています。

また、千葉県で唯一出荷停止処置がとられているのは7/22時点では「茶」のみであり、成田、野田、八街、富里、山武、勝浦の各市と大網白里町がその対象地域となっています。

水産物の放射性汚染

千葉県は7/19、県内水産物のモニタリング検査の結果、貝類を含む全魚種において放射性ヨウ素と放射性セシウムともに暫定規制値以下であり安全性が確認されたと発表しました。なお検体の採取は県内各漁港であり、採取開始は3/23、最新採取日は7/13となっています。

※子供たちの被ばく量を減らすための留意事項

6/23、成田市教育委員会より各小・中学校宛への通知から抜粋外部被ばく量を減らすために

1. 雨や強風の中での活動は控える。
 2. 放射性物質のたまりやすい場所(水たまり・砂場・草木・建物の屋根・吹き溜まりなど)や地面付近での活動はできるだけ減らす。
 3. 雨が降ったら傘をさす。(雨に濡れないようにする)
 4. 屋内に入るときはほこりをはらい、靴の泥を落とす。
- 内部被ばく量を減らすために**
1. 外出後は手洗い、うがいをしっかりとする。
 2. 風が強く土などが舞うときは外に出ない。あるいはマスクを使う。
 3. 転んだ時には水道水などで傷口をよく洗う。

※放射線量測定スケジュール

小中学校、幼・保育園など71校を毎週測定
成田市役所 下総・大栄支所、大清水・幡谷大気測定局を毎週測定

平成23年6月定例会議 雨宮しんごの一般質問

※放射能特集号としたため、内容を簡潔化しています

<東日本大震災による成田市の被害状況>

6月1日現在で、全壊が4棟、大規模半壊が11棟、半壊が19棟確認され、一部損壊が約800棟。水道被害が136箇所、停電が17,200世帯、道路被害が244箇所、橋梁被害が80件との報告がなされました。

<成田市災害対策本部の在り方>

SNSを駆使した積極的な情報発信を！！

普段ICT(情報通信技術)を活用されない方々への対応として「広報なりた」の号外を発行するなど、手に取って視認できるアナログ情報発信の強化を提案しました。

また、災害時にも安定して稼働し速達性の高かったSNS(ツイッターやフェイスブック)の活用検討も併せてなされることになりました。

<災害時の高齢者支援策>

保健福祉館を「福祉避難所」へ！！

高齢者や障がい者など災害時要援護者への対応として、自助・地域の共助を基本とした支援が機能するマニュアルの制度設計を提案しました。なお、広大な敷地を持ち医療設備も整っている保健福祉館が、「福祉避難所」として位置付けられることになりました。

<成田市の地域防災計画の見直し>

原発問題も網羅した計画立案を！

今震災で十分な活用ができなかった地域防災計画を見直すべきと提案したところ、震災における各種対策の問題点を明らかにし、その解決に向けた計画へと修正されることになりました。

<成田国際空港との連携>

空港との連携強化が成田の課題！

成田空港では、地震発生直後から4時間ほど滑走路が閉鎖され、空港ターミナルには8500人ほどの滞留者が生じました。ですが、現時点では災害時の相互協定を目的とした空港会社を含む空港関連企業との連携がないことから、空港内の主たる関係機関と県や市の行政機関も一体となった災害時の連携体制の強化を図るよう改善を求めました。

<防災・減災に向けた取り組み>

相互支援協定の促進と防災マンパワー！

大災害発生時の県対策本部への職員派遣、他県の市との災害時相互支援協定、そして市の防災マンパワーの育成強化などについて提案し、諸施策が講じられることになりました。

6月定例会議

14議案が採決されました。

請願 消費者行政

わたしが紹介議員となった「地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願書」の審査が行われ、全会で採択いただきました。

キリトリ

みなさまのご意見をお寄せください！

Q1 雨宮しんごに期待することは何ですか？

Q2 一般質問で取り上げてほしい項目はなんですか？○をお付けください。

●高齢者福祉●景気、雇用問題●空港問題●防犯、防災対策

●医療問題●子育て支援や教育の充実●環境問題●その他()

Q3 成田市政へのご意見や雨宮しんごへのご要望をお書きください。

FAX:0476-27-1051

ご記入頂いた個人情報は、ご依頼を受けたご要望等の対応に利用させていただきます。

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号